

## ESG 経営と栄養改善ビジネスの展開に向けて」セミナー アンケート結果

数字：人数(%)

【参加者数】 70  
【回答者数】 35(50.0)

1. 業種をお知らせ下さい。

・ コンサルタント	9(25.7)
・ 食品製造業	7(20.0)
・ NGO/NPO	4(11.4)
・ 社団法人/財団法人	2(5.7)
・ 政府関係機関(地方自治体も含む)	2(5.7)
・ サービス業	2(5.7)
・ 農林水産業	1(2.9)
・ その他	8(22.9)

〔広告、総合商社、評価機関、製造業、建設業、大学、不動産会社〕
2. 今回のセミナー開催をどのようにお知りになりましたか。(複数選択可)

・ NJPPP：メルマガ	12(34.3)
・ 知人の紹介	8(22.9)
・ JICA：ウェブサイト	5(14.3)
・ NJPPP：ウェブサイト	3(8.6)
・ 食品産業センター：ウェブサイト	3(8.6)
・ 食品産業センター：メルマガ	3(8.6)
・ ちらし(案内)	2(5.7)
・ その他	2(5.7)

〔業界紙、他部署でNJPPP に加入しているの〕
3. 本セミナーに参加した目的/理由をお選び下さい。(複数選択可)

・ 情報収集のため	29(82.9)
・ 興味のある内容だったから	15(42.9)
・ ビジネス展開を考えているため	9(25.7)
・ NJPPP 会員だから	3(8.6)
・ ネットワークづくり	2(5.7)
4.
  - 4.1 セミナー内容について、適当な項目をお選びください。
    - ・ **大変満足：18(51.4)**
      - ✓ 現場で試行錯誤された実体験に基づく内容だったため
      - ✓ 途上国ビジネスを展開している企業様のリアルな話が聞けたため
      - ✓ 講師の皆様のプレゼン内容が大変実践的な内容で、今後の戦略策定に役立ちそうだから
      - ✓ すでに取り組んでいるものを SDGs による世界共通の言葉で発信することの重要性が聞けたこと。具体的な事業の事例が、栄養の視点から聞けたこと
      - ✓ SDGs は今や世界共通語であることが、よく分かった。3 社の方々の、現地での奮闘の様子がよく分かった
      - ✓ 食品企業の実際の取り組みと課題を知ることができたため
      - ✓ SDGs の体系的な説明とともに企業の取り組みについて事例を踏まえて知ることが出来たため
      - ✓ 笹谷講師の見識が深い。カゴメ・大橋氏、キッコーマン・前田氏、ユーグレナ・佐竹氏各氏のビジネスの実地・実際の経験に基づく率直な事業紹介・説明は大変貴重
    - ・ **やや満足：16(45.7)**
      - ✓ 質疑応答の時間がもう少しあるといいですが講演内容は大変興味深かった
      - ✓ 実際の企業様の事例を元に、うまくいった事例とうまくいかなかった事例と双方を伺うことができたのが貴重だった
      - ✓ 全ての説明に配布資料が欲しかった
      - ✓ パネルディスカッションが単なる質疑応答のセッションとなっていました。ディスカッションの場となるよう工夫いただけるとより良かったと思います。発表した企業が全て JICA のスキームを利用していましたが、企業独自の取り組み、その他スキームを利用した事例も知りたいと思った
      - ✓ いくつかの企業の具体的な事例も含めて ESG に関して考えることができたから

- ・ やや不満足：1(2.9)
  - ✓ ESG 経営がタイトルについていたけれども、事例の中であまり ESG 経営について触れられていなかったと思う。特に、途上国の栄養事業の中で、Environment がどのように対応されていたのか、日本企業が途上国で事業展開する際 Governance の面をどう扱うのか、といったことが聞けたら良かった
- 4.2 セミナーの開催時期(10月)について、適当な項目をお選びください。
  - ・ 良い：30(85.7)
    - ✓ 特に繁忙期ではないため
    - ✓ 食料関連のイベントがある時期だから
    - ✓ 10月は気候もよく、仕事の年度年間サイクルの中で比較的安定した時期であるため
  - ・ 悪い：1(2.9)
    - ✓ 下期の期初のため時間が取り難い
  - ・ どちらとも言えない：4(11.4)
    - ✓ 10月は民間企業のセミナー等の開催も多い時期なので違う時期がよかった。実施中の案件が2件あったので、これらが一段落する時期の方がよいと思う
    - ✓ 開催月については特にコメント無し。SDGs に対する注目が昨年から飛躍的に高まったことを考えるともっと早くに開催されても良いと感じた
- 4.3 セミナー時間の長さについて、適当な項目をお選びください。
  - ・ 長い：4(11.4)
    - ✓ 質疑応答の時間も十分にあり、良かったと思う
    - ✓ 途中休憩があるとよかった。期待した内容でなかった場合など、途中退席がしやすい
  - ・ 短い：1(2.9)
  - ・ 丁度良い：30(85.7)
    - ✓ 休憩の時間が適切だった
    - ✓ 長すぎず短すぎずがよい
    - ✓ 今回のテーマでまとまった内容を聴講したいと期待して参加した場合、講師・プレゼンター4名を勘案すると、2時間では忙しく、かといって3時間を超えると集中力も切れ、また職場も空けにくくなる
- 5.
  - 5.1 「ESG 経営と栄養改善ビジネスの関連性ー持続可能な共通言語 SDGs を活用するー」について、適当な項目をお選びください。
    - ・ とても役に立った：17(48.6)
      - ✓ 全体像を把握するのに役立った
      - ✓ 新しい感覚を覚えました
      - ✓ 色々な解釈がある中で SDGs に取り組む企業体にとっての明確な指針が示されたから
      - ✓ 実践的な示唆が多かったため
      - ✓ これからのビジネスの方針・取組を考える際の SDGs マインドの重要性をよく理解できた
      - ✓ SDGs を 5P で説明するという SDGs を理解してもらう方法が参考になりました
      - ✓ ESG 経営に関して理解が深まった
      - ✓ ESG への理解が深まった。SDGs の言葉で表現できる可能性があることを知ることができた。チェックリストとそれをチャンスとリスクで評価する視点は有用
    - ・ まあまあ役に立った：15(42.9)
      - ✓ 初めて SDGs に関するセミナーを聴講したため
      - ✓ 最近の考え方を知ることができた
    - ・ あまり役に立たなかった：3(8.6)
      - ✓ 上記のとおり、途上国の栄養事業における ESG 経営の実践例についてあまり情報が得られなかったため
      - ✓ 既知の内容であったため
  - 5.2 「インド国 BOP 層のビタミン A 摂取状況改善事業の準備調査」について、適当な項目をお選びください。
    - ・ とても役に立った：20(57.1)
      - ✓ うまく進まなかった理由、それへの原因と対策について説明があったため

- ✓ カゴメ様の”トマト”だけに留まらないダイナミックな挑戦のお話が伺えて、会社としての懐の大きさを感じた
- ✓ 事業化しなかった理由までの経緯が具体的だった
- ✓ 率直な事業実施概要を伺うことができた

- ・ まあまあ役に立った：11(31.4)

- ✓ セミプロの感じした
- ✓ 具体的な事業の話が聞けた。うまくいかなかった点は、あまり新しい気づきではなかったかも
- ✓ 内容が充実していた

- ・ あまり役に立たなかった：4(11.4)

- ✓ SDGs 達成に向けた取り組みとしての文脈ではなかったため
- ✓ ビタミン A も大事だが Stunting にはタンパク源が必要

5.3 「ケニアにおける日本の伝統的発酵技術を活用した栄養食品事業」について、適当な項目をお選びください。

- ・ とても役に立った：21(60.0)

- ✓ 発酵技術についての理解が深まった。栄養の評価やそれを活用する際の調理時間など、社会的な分析もしている点が面白い
- ✓ 一つ一つのモデル検証をした結果社会、環境課題の解決に資するけどコスト面で事業化せずという判断が参考になった
- ✓ 最後のスライド、JICA 案件への心構えについて、とても学ぶことの多いスライドでした。
- ✓ 取り組み開始からの流れがとても分かりやすかった
- ✓ うまく進まなかった理由、それへの原因と対策について説明があったため
- ✓ 率直な事業実施概要を伺うことができた
- ✓ 大豆について関心を持っております。大手なのに初めてなので親近感を持った
- ✓ 御担当者様の志が素晴らしい

- ・ まあまあ役に立った：13(37.1)

- ✓ 発酵食品の分野の可能性の検討についてしることができたので
- ✓ 現地のご苦労が良い示唆になった
- ✓ JICA 事業終了後の現地ビジネス展開についての課題が示されたので

- ・ あまり役に立たなかった：1(2.9)

5.4 「ブータンにおける栄養改善のためのキヌア生産・販売ビジネス」について、適当な項目をお選びください。

- ・ とても役に立った：17(48.6)

- ✓ 苦労を赤裸々に共有いただき途上国の食品ビジネスに共通する7つの課題が参考になった
- ✓ 生産量の半分は現地で消費、半分は日本で販売というモデルが興味深かった
- ✓ 前2者と異なり、調査・実証段階ではない、ビジネス事例の概要を知ることができた

- ・ まあまあ役に立った：15(42.9)

- ✓ ユーグレナ様はプロ
- ✓ 数少ない成功事例の陰にご苦労がしのばれ役だった

- ・ あまり役に立たなかった：3(8.6)

- ✓ プロジェクト自体への理解に時間がかかった。現地の栄養改善にどの程度貢献しているのかが分かりにくかった
- ✓ なぜキヌアなのか、誰のための栄養改善なのかがよくわからない

6. 現在の栄養改善事業に関する取り組みについて、該当する項目を1つ選択してください。

- ・ 現在、取り組んでいる：4(11.4)

- ✓ カンボジアにおける職場の栄養改善プロジェクト
- ✓ アフリカ全域に広がる養改善ビジネスモデル形成中
- ✓ 各社の栄養改善事業推進のサポートや公的支援を受けるためのアドバイスなど

- ・ 取り組む準備を進めている：3(8.6)

- ✓

- ・ 取り組もうと考えているが、まだ行動には至っていない：18(51.4)

- ・ 取り組む予定はない：9(25.7)  
✓ 当団体自体はビジネスを行わない
  - ・ 以前、取り組んでいたが現在は取り組んでいない：1(2.9)  
✓ 昨年、JICA の IFNA 調査に参加。アジア地域の栄養プロフィールを作成した
7. セミナーに参加して、栄養改善ビジネスへの取り組みについて、該当する項目を1つ選択してください。
- ・ 既存の取り組みに活かしたい 4(11.4)
  - ・ 新規事業に取り組みたい 5(14.3)
  - ・ 取り組みを検討したい 18(51.4)
  - ・ 取り組む予定はない 8(22.9)
8. 次回の栄養改善に関わるセミナーで、希望するテーマをご記入ください。
- ✓ 社内調整の進め方にフォーカスした事例紹介
  - ✓ 失敗談や苦労している点にフォーカスしたものは大変参考になった
  - ✓ 健康経営に関するもの
  - ✓ 援助が必要な BOP 市場ではなく、中所得国での栄養改善について
  - ✓ 栄養改善ビジネスを計画するケーススタディを用いたワークショップ、コンサルタントが関与できることについて
  - ✓ 栄養改善のための普及に関して（民間ビジネスをどのように根付かせるか）
  - ✓ JICA の枠組みを利用せずに、途上国で栄養改善を行なっている実例があれば伺いたい
  - ✓ JICA スキームを使っていない事例
9. NJPPP(栄養改善事業推進プラットフォーム)についてご存じでしたか。
- ・ はい 21(60.0)
  - ・ いいえ 14(40.0)
10. NJPPP への加入について、適当な項目をお選びください。
- ・ 既に参加している 15(42.9)
  - ・ 前向きに加入を検討したい 6(17.1)
  - ・ 加入しようか迷っている 3(8.6)
  - ・ 加入は検討していない 10(28.6)
  - ・ 加入したくない 1(2.9)
11. NJPPP について今後期待する項目を全てお選びください。(複数選択可)
- ・ ニーズに関する情報提供(対象国・関連企業等) 20(57.1)
  - ・ ネットワーク作りのための場の提供 16(45.7)
  - ・ プロジェクト実施報告 15(42.9)
  - ・ 企業・団体間のマッチング 13(37.1)
  - ・ 栄養関連課題の情報提供(国別・栄養素別等) 12(34.3)
  - ・ プロジェクト立案から採択までの流れと条件等の紹介 12(34.3)
  - ・ 栄養改善に必要な知識やスキル(栄養指導、栄養評価方法等)の提供 8(22.9)
  - ・ NJPPP 活動内容の紹介 7(20.0)
  - ・ 新規プロジェクト採択情報 7(20.0)
  - ・ その他 2(5.7)  
〔取り組みの具体的事例〕
12. ご質問・ご要望等ございましたら、ご記入ください。
- ✓ 当日配布されなかった発表資料を送ってほしい
  - ✓ 今回他社様の具体的な事例を知れてとても貴重な機会となった
  - ✓ 最近の動向のお話を伺えて貴重な機会でした。弊社の実業の中にも取り入れる努力をしたいと思う

ご協力ありがとうございました。